釧路町立昆布森小学校学校だより

昆小だより

令和８年１０月２７日　第７号

昆小ＨＰ　http://konbumorisho.kushirocho.ed.jp

半年間の学びを

校長　　國井　彩子

9月末、子どもたちが半年間の学びを積み重ねてきた節目として、前期の通知表を配付しました。保護者の皆様からお子さんへの温かい励ましの言葉を、とてもありがたく拝見しました。中でも、「名前を見なくても〇〇の通知表だとわかるほど〇〇らしさが出ていますね。この調子で、自分らしさを伸ばしながら、たくさんのことに興味をもっていってほしいと思います。」という言葉がとても印象的でした。お子さんが家庭で見せている姿と、学校で見せている姿が一致しているということは、家庭でも学校でも、安心して自分らしさを発揮できているということです。こうした一貫した安心感は、子どもたちの自己肯定感の土台にもなります。そのうえで、お子さんの〝よさ〟はもちろん、「さらにここをがんばるといい」という〝課題〟についても、家庭と学校が同じように認識していることは、よりよい成長につながる大切な視点だと考えます。

そして、10月11日の合同学習発表会は、半年間の学びの集大成を発表する大切な時間となりました。ご参観いただいた皆様の温かいまなざしが、子どもたちの背中を押してくれました。また、参観後にQRコードから感想をお寄せいただいた皆様には、ご協力いただきましたことに心よりお礼申し上げます。

残念ながら、半年間学習したすべての内容をお見せすることはできませんので、子どもたちが発表した姿は、その学びの〝ほんの一端〟です。それでも、その一端に、日々の積み重ねや仲間との関わり、挑戦する気持ちがしっかりと表れていました。学年によっては、子どもたちの「これを発表したい」「こんなふうに表現したい」という思いを生かしながら構成を考えた場面もありました。自分たちで内容を選び工夫し、仲間と相談しながら仕上げていく過程は、まさに今求められている〝主体的な学び〟そのものです。

戦後の子どもたちに向けて生き方を問いかけた『君たちはどう生きるか』の著者である吉野源三郎氏は、**「人間は、自分のしていることによって、自分をつくっていく」**と語っています。今回の学習発表会で子どもたちが見せてくれた姿は、その言葉を思い起こさせるものでした。自分で選んだ表現、自分で積み重ねてきた学び、仲間とつくり上げた時間～そのすべてが、子どもたち自身を形づくる大切な力になっていると感じました。

当日の子どもたちは、緊張しながらも真剣な表情で舞台に立ち、仲間の発表を支える優しいまなざしを向け、終わった後には達成感に満ちた笑顔を見せてくれました。今年のテーマ**「笑顔で協力して、あきらめないで最後まで」**を体現する姿が、どの学年にもありました。発表を終えた後、「もっと大きな声を出せばよかった」といった思いを口にする子もいましたが、その気持ちは次の取組への大切な一歩です。

子どもたちの表情や言葉の端々に、次の学びへの意欲が少しずつ芽生えていることを感じます。行事後は気持ちが緩んだり、疲れが出たりする時期でもあります。そんな時こそ、子どもたちの小さな変化に気づき、その先にある不安や悩みに寄り添うことが大切だと考えています。学校としては、子どもたちが今回の経験を自信に変え、次の学びへと踏み出していけるよう、日々の授業や活動の中で一人一人の変化を丁寧に受け止めていきたいと思います。楽しいことだけでなく、心配なことや不安を抱える場面もあるかもしれません。そんな時には、子どもたちが安心して気持ちを話せるよう、学校全体で寄り添っていきます。

ご家庭の皆様、地域の皆様には、これからも子どもたちの成長を温かく見守っていただければ幸いです。



１１月の予定

日	曜	給食	予　定　学　校　行　事
1	日		メディアコントロールデー
2	月	○	
3	火		文化の日
4	水	○	朝会（中学年発表）
5	木	○	指導主事訪問
6	金	○	56年社会見学（釧之助本店） 民生委員訪問 クラブ（最終回） ﾌｯ化物洗ﾛ 定時退勤日
7	土		
8	日		
9	月	○	
10	火	○	朝会（表彰） ALT（午後）
11	水	○	こんぶもりもりタイム
12	木	○	放課後はまなすクラブ（ｽﾎﾟﾌﾟﾛ）
13	金	○	ALT（午前） ﾌｯ化物洗ﾛ フィールド③ 定時退勤日
14	土		
15	日		釧P連白糠大会
16	月	○	ALT（午後） 読書週間～11
17	火	○	
18	水	○	こんぶもりもりタイム
19	木	○	放課後はまなすクラブ（ﾕﾆﾌｫｯｸ）
20	金	○	ALT（午前） ﾌｯ化物洗ﾛ フィールド④ 定時退勤日
21	土		
22	日		
23	月		勤労感謝の日
24	火	○	朝会（講話） ALT（午前） ﾊﾟｰﾄﾅｰﾃｨｰﾁｬｰ派遣事業
25	水	○	生活リズムチェック週間～27日　こんぶもりもりタイム
26	木	○	第2回学校評価アンケート実施～12/3
27	金	○	ﾌｯ化物洗ﾛ 定時退勤日
28	土		
29	日		町Ｐ連研究大会遠矢大会
30	月	○	

※行事予定が変更になる場合もあります。ご了承ください。

合同学習発表会開催



10月１１日、令和８年度の昆布森小学校・はまなす保育所合同学習発表会を開催しました。当日は、たくさんの皆様方にご来場いただき、こどもたちの頑張りに惜しみない拍手をいただきました。子どもたちも、ご家族の声援を受けて、練習の成果を思う存分発揮できたと思います。どの学年も「自分たちの４月から学んできたことを一生懸命伝える姿」を感じられる素晴らしい発表ばかりでした。生き生きとした発表が微笑ましかったです。見ていただいたご家族や地域の皆様方から、“温かい眼差し”と大きな拍手をいただき、本当にありがとうございました！





低学年の発表。ユーモア交えた発表に、拍手がわきました！





中学年の発表。音楽に合わせた楽しいダンス！





高学年の発表。完成度の高い合奏！最後のステージをかざりました！

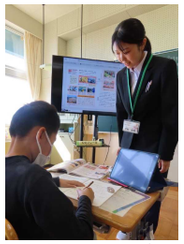
奉納相撲復活！



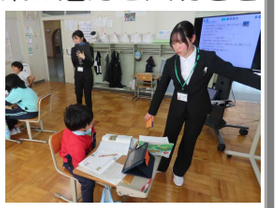
９月２８日、７年ぶりに昆布森神社祭の奉納相撲が復活しました。子ども達は事前に相撲教室で作法も学んでいたので、引き締まった雰囲気の中、一人一人が力強い相撲を見せてくれました。昆布森神社祭の役員の方々や、保護者・地域の皆様にも応援にお越しいただき、四股を踏む際には「よいしょ！」の掛け声が響き渡りました。体育館内での奉納相撲という形にはなりましたが、これからも続いてほしい地域行事です。



未来の先生めざして！



９月２８日(月)～10月１１日(日)までの2週間、へき地校体験実習で釧教大生２名が、子どもたちと学びを共にしました。教員不足が課題となる昨今、次世代の先生方を育てるのも学校の大切な役目です。短い期間でしたが、複式授業等をしっかり体験することができました。人なつっこい昆布森の子ども達との実習を通して、「先生」という職業の魅力と大切さを実感できたのではないでしょうか。
また、学習発表会では裏方として大活躍してくれました。ぜひ、近い将来学校現場で活躍することを願っています。



『落語』体験＆鑑賞会

10月15日、放課後はまなすクラブで「落語教室」を行いました。幕別町の「幕別ENGEI倶楽部」 の皆様をお迎えし、落語の楽しさや扇子・手ぬぐいを使った表現を学びました。落語体験では、子どもたちが挨拶や小話に挑戦。披露された落語では、軽快な語り口とユーモアあふれる話に大笑いしました。普段体験する機会の少ない伝統芸能にふれる貴重な時間となりました。



修学旅行に行ってきました



１０月２０・２１日、５・６年児童が知方学小との合同修学旅行に行ってきました。１日目は①帯広児童会館②帯広動物園２日目は③柳月スイートピアガーデン④道の駅「おとふけ」での観光ＰＲ活動（自主研修）という行程で、帯広方面を訪れました。帯広動物園では、ライオンの迫力ある鳴き声に驚いたり、思い出の動物のぬいぐるみを購入したりして、楽しい時間を過ごしました。柳月ではチョコレートケーキ作りに挑戦し、一人一人がオリジナルのケーキを完成させ、家族への素敵なお土産となりました。道の駅でのＰＲ活動では、役場からお借りした法被を着て、「お時間いいですか？」と積極的に声をかけながら、釧路町の魅力を発信することができました。子どもたちにとって特に心に残ったのは、知方学小の児童と一緒に過ごしたホ 081026 昆小だより（10 月号）完成版テルでの時間のようです。お風呂や自由時間を共に楽しみ、部屋での会話に花を咲かせるなど、交流を



アイヌ文化にふれて

10月16日、３・4年生は総合的な学習の時間「もっと知りたい！昆布森」で、昆布森の難読地名について学習しました。地名の多くがアイヌ語に由来することから、様似町教育委員会の学芸員であり、様似アイヌ協会の大野さんを講師にお迎えし、地名に込められた意味などを教えていただきました。 また、アイヌの伝統楽器「ムックリ」の演奏にも挑戦しました。授業後も大野さんのそばで熱心に練習する児童の姿が見られました。昆布森の地名や文化への興味を深める学習となりました。



後期児童会スタート



10月６日、後期代表委員会の認証式が行われました。代表委員長の笹本杏心さん、文化委員長の新川零さん、保体委員長の渡辺希海さんが学校長より認証状を受け取りました。
よりよい学校生活に向けて頑張ってほしいと思います。